
【クレジットカードに関する総合調査】 2017年度版 調査結果レポート

株式会社ジェーシービー

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様(JCB会員・非会員を含む)を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2017年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場(保有・利用実態)について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目次

I.	調査設計	-----	3
II.	結果の概要	-----	4
1.	クレジットカード保有率	5
2.	クレジットカード保有・携帯枚数	6
3.	クレジットカード利用頻度	7
4.	クレジットカード利用金額	8
5.	保有クレジットカードごとの利用理由	9
6.	クレジットカード利用業種	11
7.	支払の際のクレジットカード利用割合	14
8.	月平均生活費とクレジットカード利用額	16
9.	月平均生活費とクレジットカードの保有状況	17
10.	電子マネーの利用状況	18
11.	デビットカードの利用状況	19

I. 調査設計

- 調査時期 : 2017年 9月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人 (20代から60代の男女、学生を含む)
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

当報告書における表示内容と注意点

当報告書では、本年度(2017年度)の調査結果を中心に、2013年度～2016年度との比較を含めて作成しております。昨年度より選択肢の表示順序による回答への影響を除くことを目的に、設問によって表示順に対してランダムイズ制御をかけた質問方法を採用しております。

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体		
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500	全体	3500
	女性	322	378	322	396	342	1760			
北海道	男性	27	29	27	34	27	144	300	北海道	300
	女性	27	31	29	38	31	156			
東北	男性	14	14	15	18	14	75	150	東北	150
	女性	13	14	15	18	15	75			
北関東	男性	14	16	14	18	14	76	150	首都圏	1050
	女性	13	15	14	18	14	74			
首都圏	男性	92	111	85	93	79	460	900		
	女性	84	103	79	92	82	440			
甲信越・北陸	男性	13	16	14	18	14	75	150	甲信越・北陸	150
	女性	13	15	14	18	15	75			
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	東海圏	450
	女性	28	34	26	31	28	147			
東海 その他	男性	14	16	14	17	14	75	150		
	女性	13	16	14	17	15	75			
近畿	男性	46	55	43	53	47	244	500	近畿圏	650
	女性	47	57	45	56	51	256			
近畿 その他	男性	13	15	14	17	14	73	150		
	女性	14	16	14	18	15	77			
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150	中国・四国	300
	女性	13	15	14	18	16	76			
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150		
	女性	13	15	14	19	16	77			
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300	九州圏	450
	女性	30	32	28	36	29	155			
九州 その他	男性	13	14	15	18	13	73	150		
	女性	14	15	16	17	15	77			

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計 (回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う)
各サンプルに、母集団^(※)と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を掛け合わせて集計サンプルを算出
<※>2015年国勢調査確定値を用いた

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海 その他	近畿	近畿 その他	中国	四国	福岡	九州 その他	TOTAL
母集団	3,400,352	5,513,699	4,333,203	23,658,362	5,011,038	4,769,326	4,658,814	10,640,535	2,307,415	4,493,426	2,307,261	3,194,187	5,636,597	79,924,215
母集団比率	4.25%	6.90%	5.42%	29.60%	6.27%	5.97%	5.83%	13.31%	2.89%	5.62%	2.89%	4.00%	7.05%	100%
回収数	300	150	150	900	150	300	150	500	150	150	150	300	150	3500
回収比率	8.6%	4.3%	4.3%	25.7%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.496	1.610	1.265	1.151	1.463	0.696	1.360	0.932	0.674	1.312	0.674	0.466	1.646	
ウェイトバック後サンプル	149	241	190	1,036	219	209	204	466	101	197	101	140	247	3,500
ウェイトバック後比率	4.25%	6.90%	5.42%	29.60%	6.27%	5.97%	5.83%	13.31%	2.89%	5.62%	2.89%	4.00%	7.05%	100.0%

掛け合わせる

II. 結果の概要

総括

■ クレジットカードの保有率は85%。平均保有枚数は3.2枚。

クレジットカード保有率は2014年から2015年に減少したが、2015年以降は同程度で推移しており、2017年は85%であった。

男女20代の保有率は他の年代と比べて低く、約7割であった。

一人あたりの保有枚数は平均3.2枚、携帯枚数（実際に持ち歩くクレジットカードの枚数）は平均2.1枚で、どちらも昨年と同程度であった。

■ 1番利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり5.8回、5.1万円が利用されている。利用金額は昨年から増加している。

1番多く利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり平均5.8回、5.1万円利用されている。利用頻度は昨年から大きく変わらないが、利用金額は2,000円増加している。

2番目に利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたりの平均利用頻度、利用金額ともに昨年と同程度である。

■ クレジットカードの利用では、「ポイント・マイル」や「入会金・年会費の安さ」など利得性や、身近な場所で利用できる利便性が重視されている。

1番多く使うクレジットカードを利用する理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから（50%）」、「入会金・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）（32%）」が高い。

2番目に多く使うクレジットカードも、1番多く使うカードと同様の理由が高い。

その他、「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を支払口座として登録できる」「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」という理由も高く、普段の生活で接点がある場所でのサービスが、クレジットカード利用を促進させていると考えられる。

■ クレジットカード決済が多い業種は「オンラインショッピング」、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」。多くの業種でカード利用が増加した。

クレジットカードで支払いを行っている業種は、「オンラインショッピング（37%）」、「携帯電話（31%）」、「スーパーマーケット（30%）」が多く、日常的な買い物でカードは利用されている。昨年に比べて多くの業種でカード利用が増加した。

■ クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.6万円。そのうち平均6.5万円はクレジットカードで支払われている。

クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.6万円。そのうち、世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は6.5万円であった。生活費に占めるクレジットカードの利用割合の平均は36%（※）であった。※ウェイトバック集計を考慮した算出方法の場合

■ 電子マネーの保有率は83%、利用率は71%。

電子マネーは保有率83%、利用率71%で、いずれも年々増加している。電子マネーは「コンビニエンスストア」や「鉄道・地下鉄・バス」で利用される機会が多い。

■ デビットカードの保有率は22%、利用率は11%。

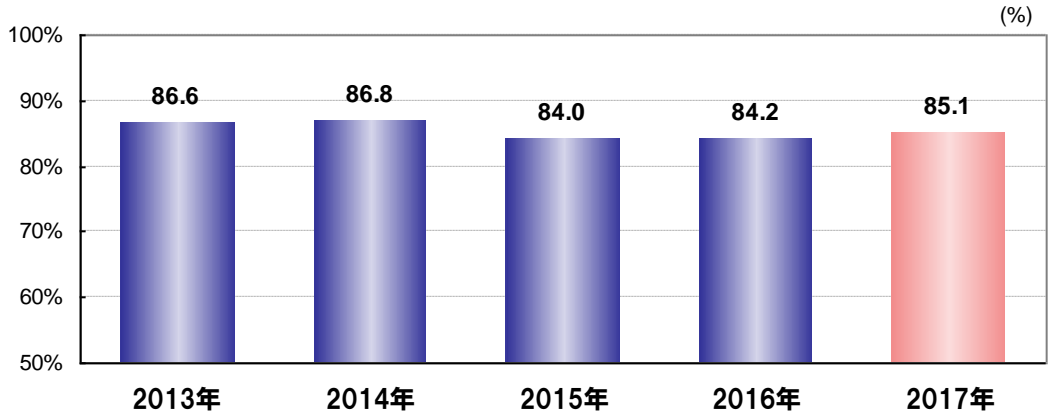
デビットカードは保有率22%で、年々増加している。利用率は11%で、保有率同様、年々増加している。主なデビットカードの利用理由は「残高の範囲内で利用でき、使いすぎないから（42%）」であった。

1. クレジットカード保有率

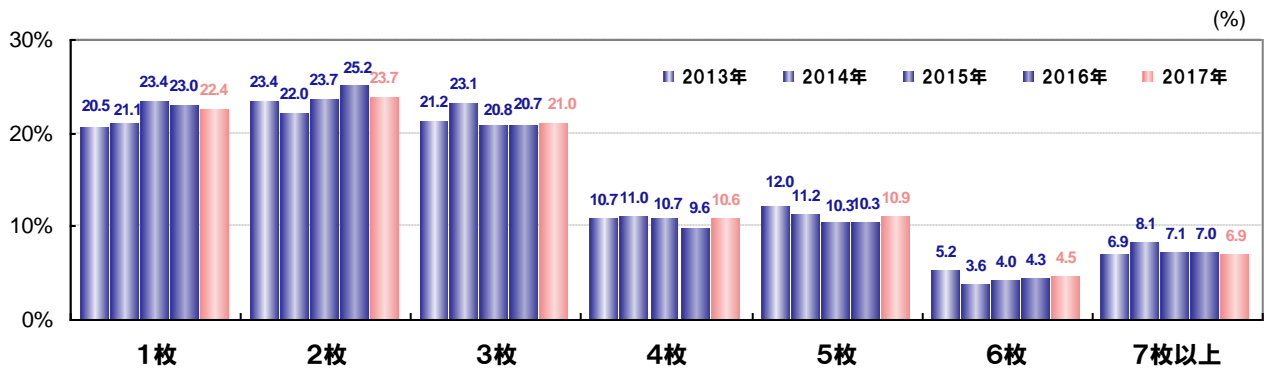
クレジットカードの保有率は85%。昨年と同程度で、2015年以降は横ばいに推移している。

- ・クレジットカード保有率は85.1%と昨年と同程度。2015年以降、横ばいに推移している。
- ・保有枚数は昨年と同程度であり、「1枚」～「3枚」が全体の約7割を占める。

■ クレジットカード保有率【経年】 (N=3500)



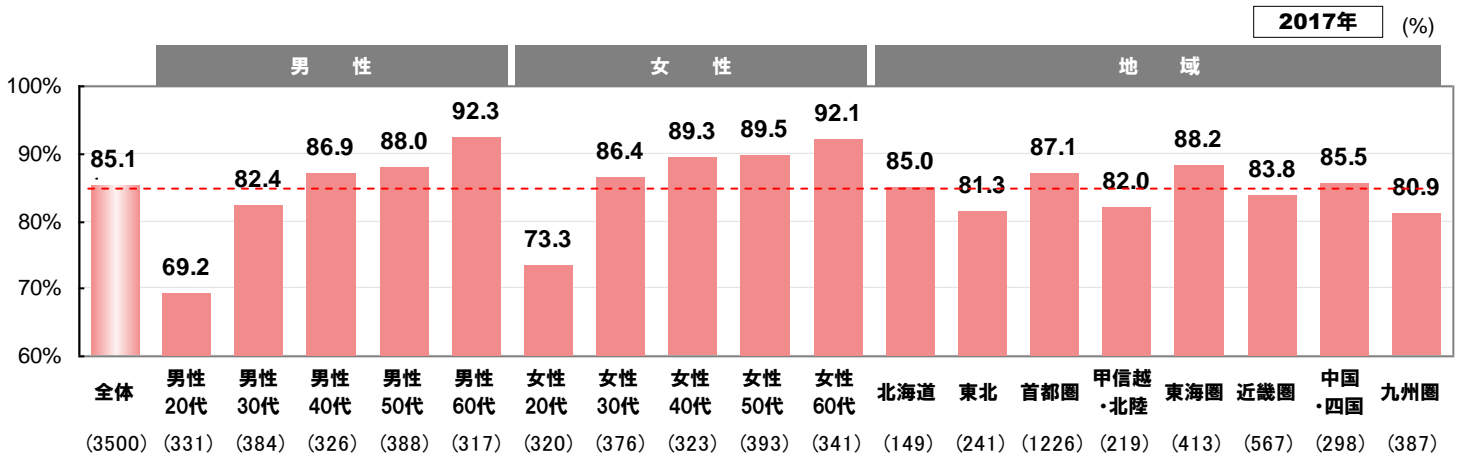
■ クレジットカード保有枚数【経年】 (クレジットカード保有者のみで集計)



20代のクレジットカード保有率は約7割で低い。女性の保有率は全体的に男性より高い。

- ・年代別に見ると、20代のクレジットカード保有率は男性69.2%、女性73.3%と特に男性で低い。
- ・男女別では、男女60代の保有率が9割を超えて高い。地域別では、東海圏の保有率が88.2%と最も高く、九州圏が80.9%で最も低い。

■ クレジットカード保有率【属性別】 (N=3500)

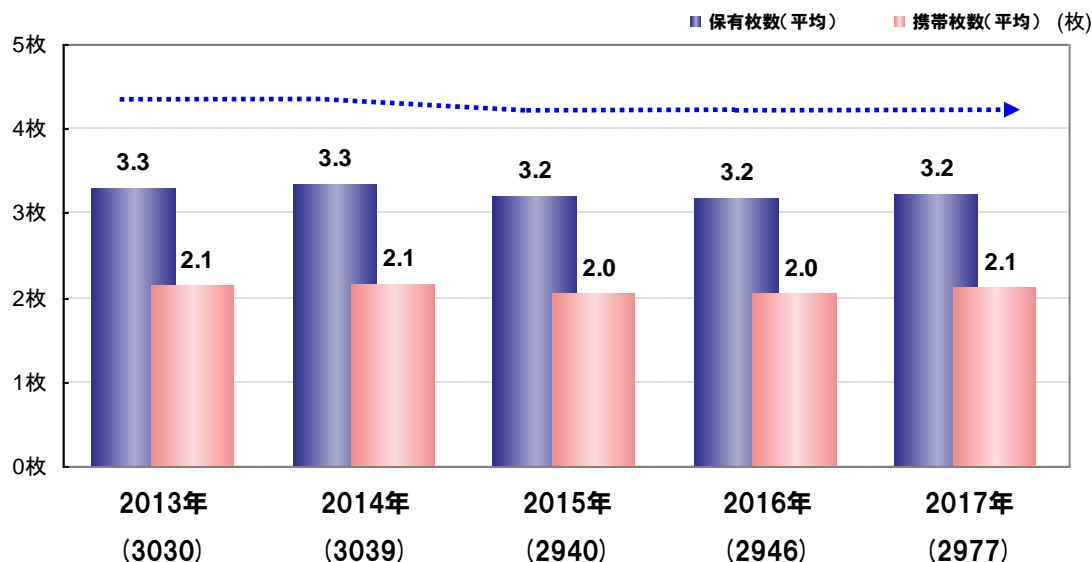


2. クレジットカード保有・携帯枚数

平均保有枚数は3.2枚、平均携帯枚数は2.1枚。ともに2013年から横ばい。

- ・クレジットカードの平均保有枚数は3.2枚。2013年から同程度で推移している。
- ・携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)は平均2.1枚。保有枚数と同様に、2013年から同程度で推移している。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数 (N=2977:クレジットカード保有者) 【2017年】

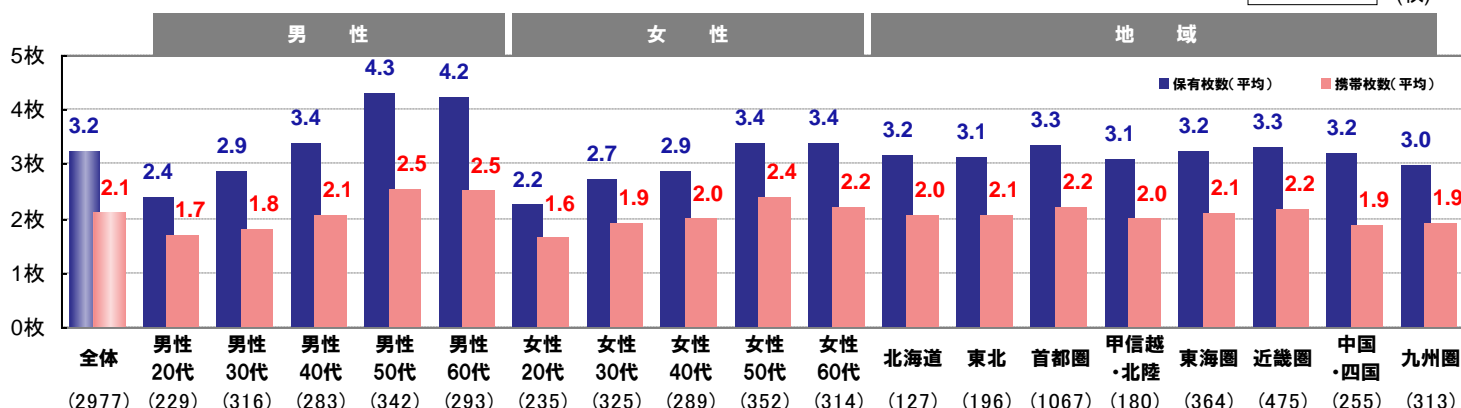


平均保有枚数は男性、50～60代が多い。平均携帯枚数は性別で大きな差はみられない。

- ・保有枚数は女性より男性が多い。年齢が上がるほど保有枚数は多くなり、男性50～60代の保有枚数は4枚以上で多い。一方で、男性20～30代、女性20～40代は3枚に満たない。地域別では、全てのエリアで3枚以上保有している。
- ・携帯枚数は性別で大きな差はみられないが、男女20～30代、中国・四国、九州圏は2枚に満たない。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

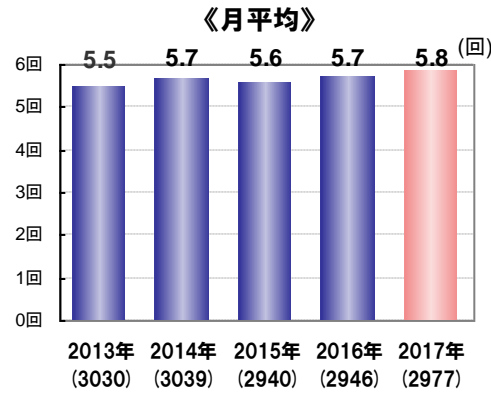
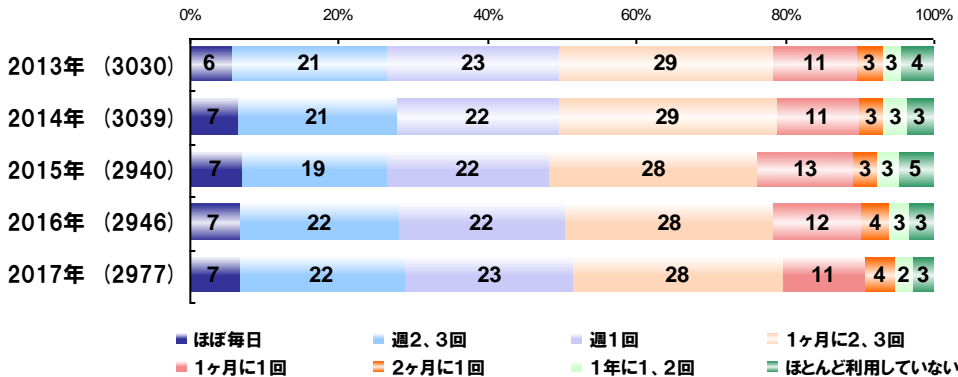
2017年 (枚)



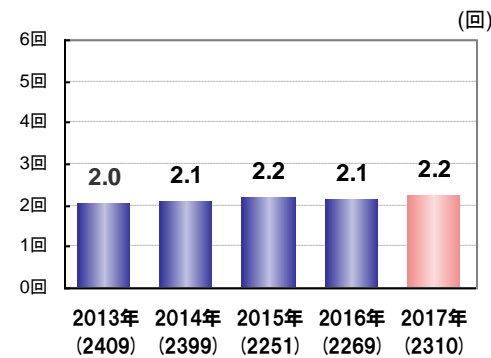
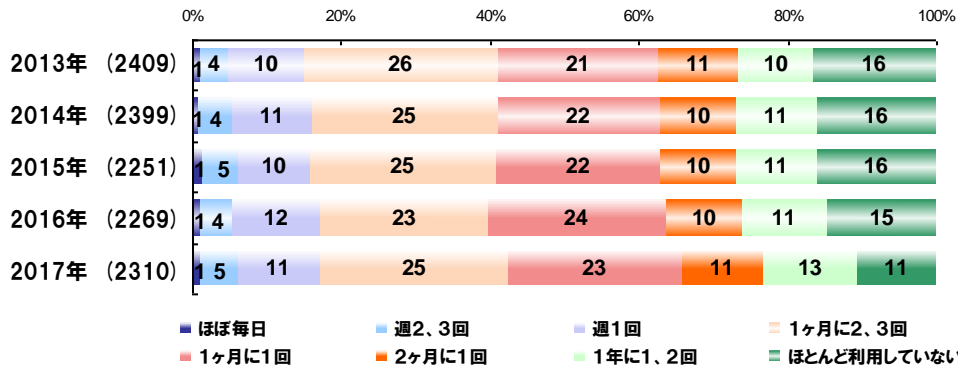
3. クレジットカード利用頻度

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は5.8回。
1番目、2番目ともに昨年から大きな変化はみられないが、2013年からは微増傾向。

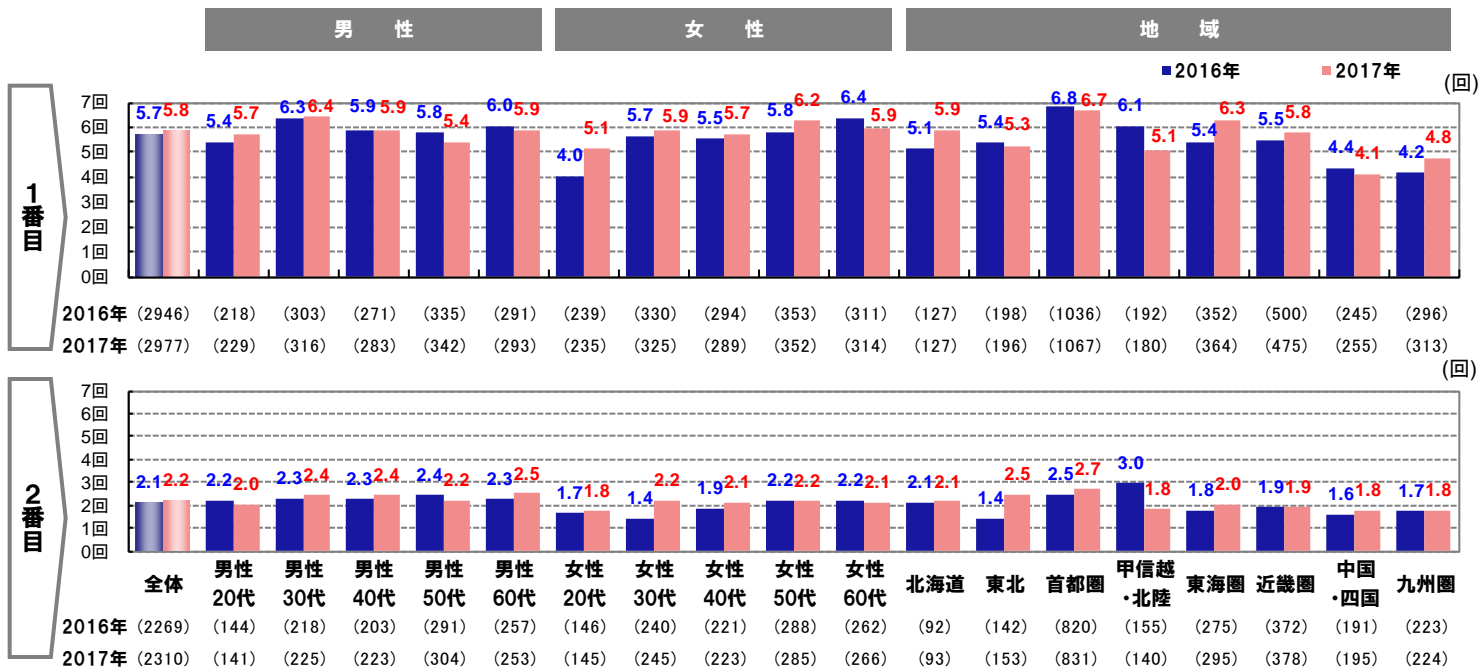
【1番多く使うカード(N=2977:クレジットカード保有者)】



【2番目に多く使うカード(N=2310:クレジットカード保有者)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度/月



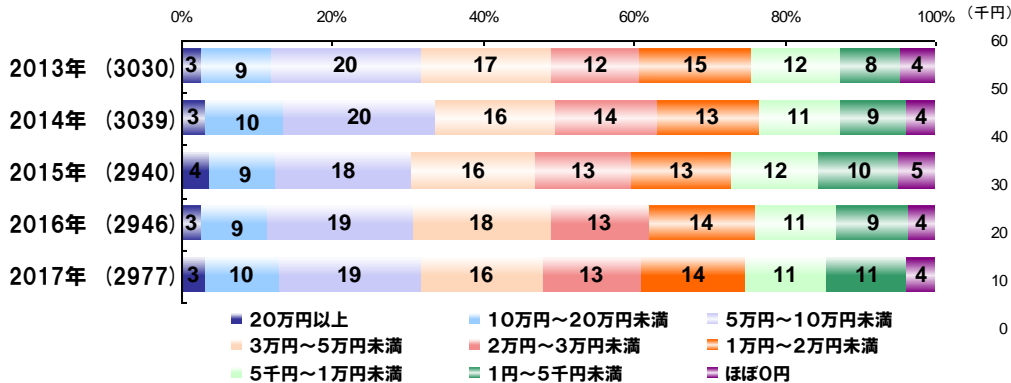
※利用頻度の定義: 本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

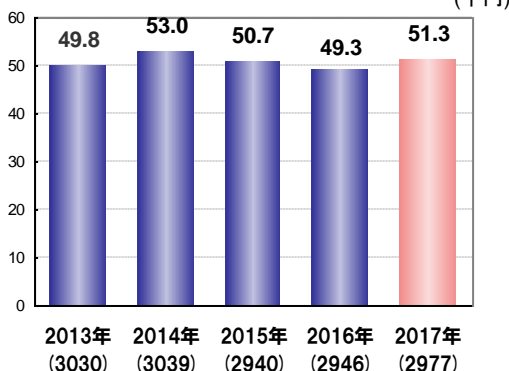
4. クレジットカード利用金額

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は5.1万円。昨年より0.2万円増加している。

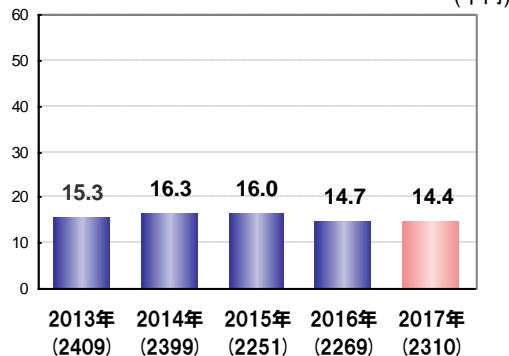
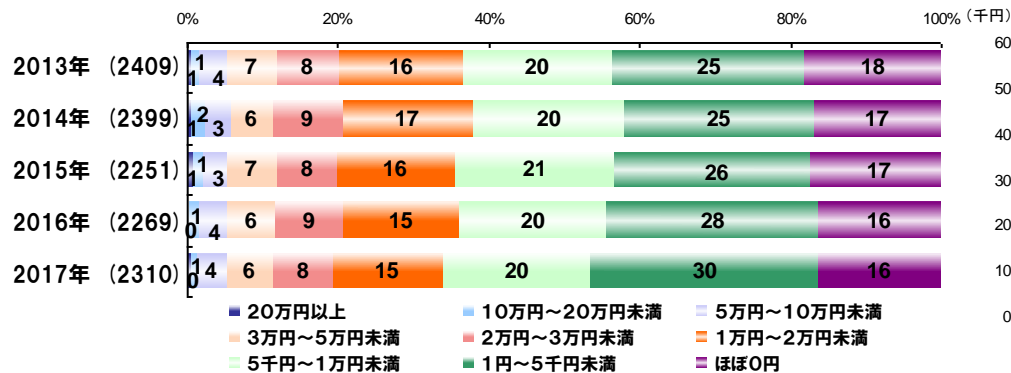
【1番多く使うカード(N=2977:クレジットカード保有者)】



《月平均》



【2番目に多く使うカード(N=2310:クレジットカード保有者)】

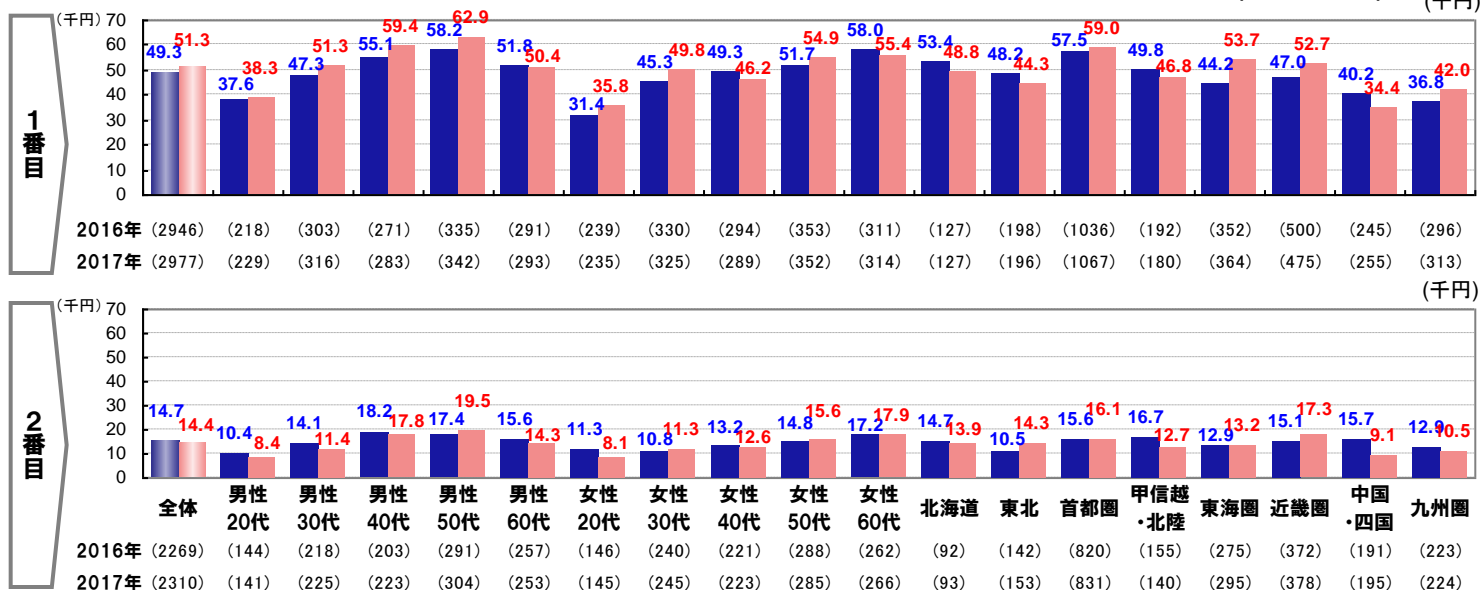


1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額/月

男性

女性

地域



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円~20万円未満	5万円~10万円未満	3万円~5万円未満	2万円~3万円未満	1万円~2万円未満	5千円~1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

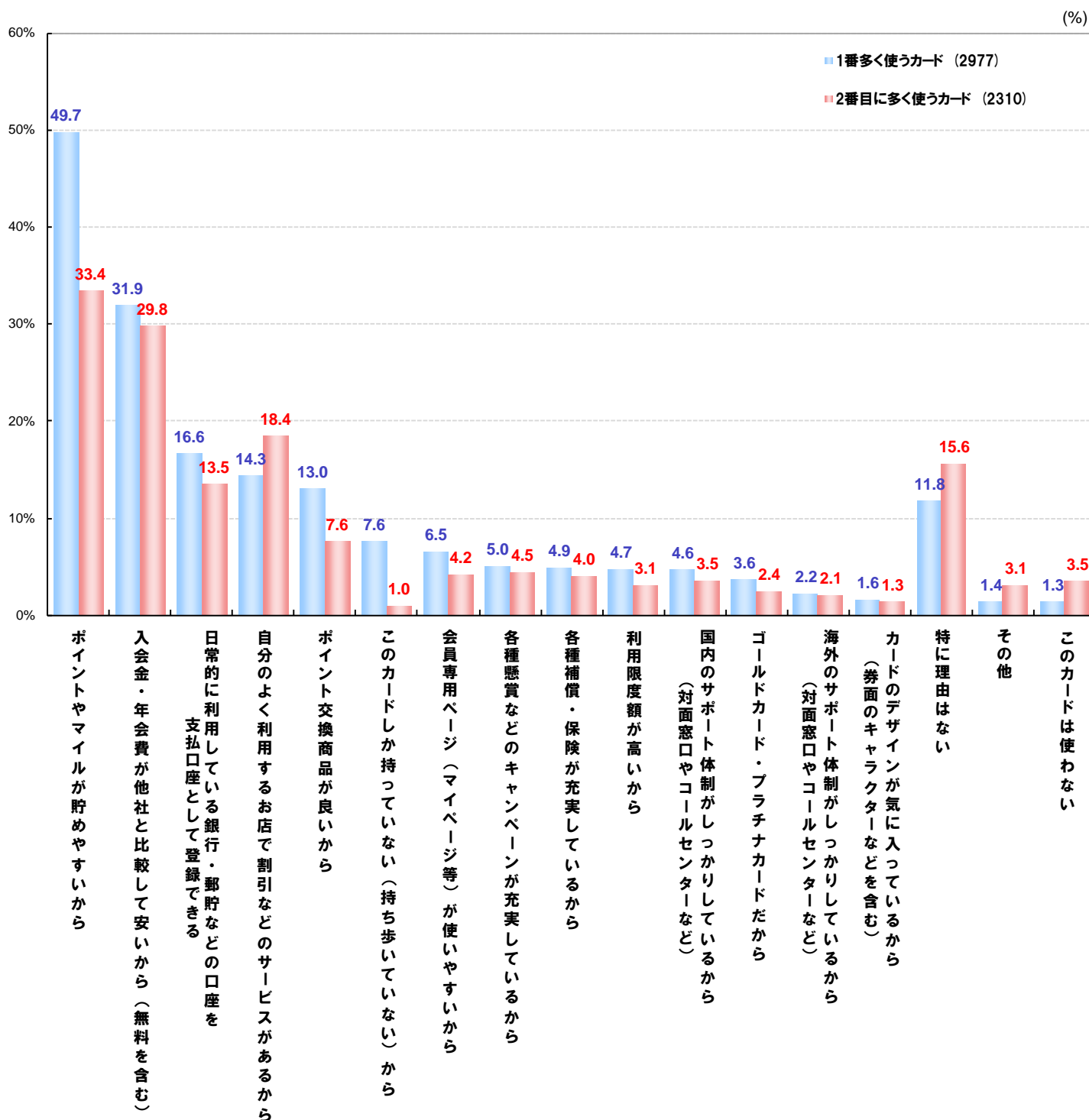
なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

5. 保有クレジットカードごとの利用理由

1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」と、「入会金・年会費が他社と比較して安いから」。

- 1番多く使うクレジットカードの利用理由としては、「ポイントやマイルが貯めやすいから(49.7%)」が約5割と高い。「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(31.9%)」が3割を超えて続く。
- 2番目に多く使うカードも1番多く使うカード同様、「ポイントやマイルが貯めやすいから(33.4%)」が最も高く、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(29.8%)」が約3割で続く。

■ クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)

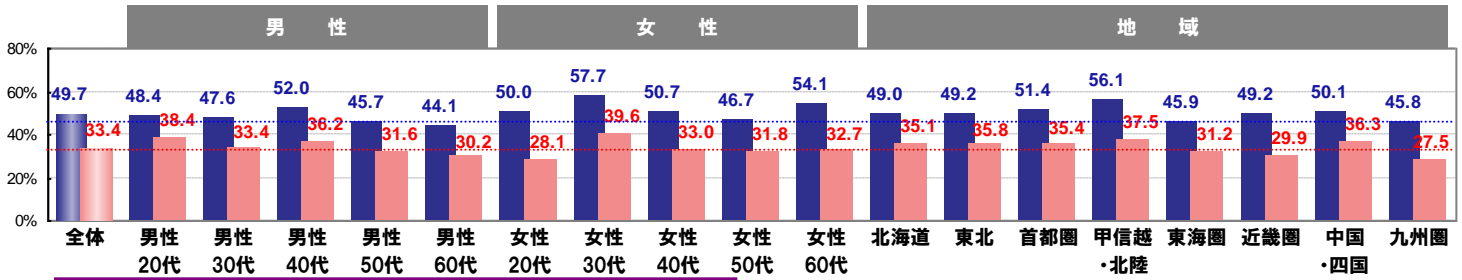


「ポイントやマイルが貯めやすいから」は女性30代と女性60代が高く、
「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)」は女性60代が高い。

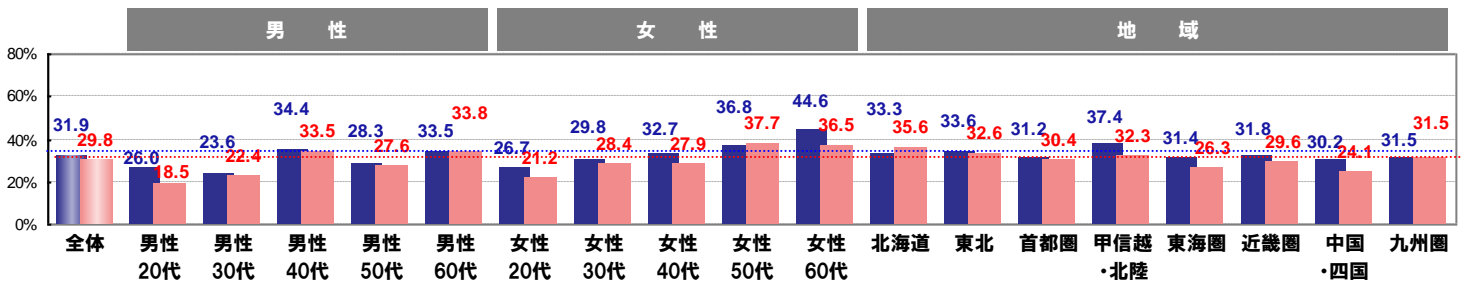
■ クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)(属性別)上位5項目

■ 1番多く使うカード
■ 2番目に多く使うカード

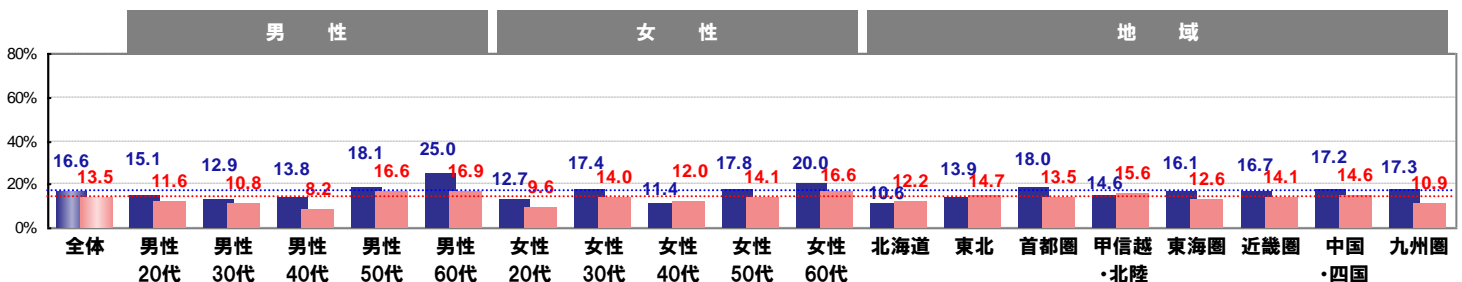
ポイントやマイルが貯めやすいから



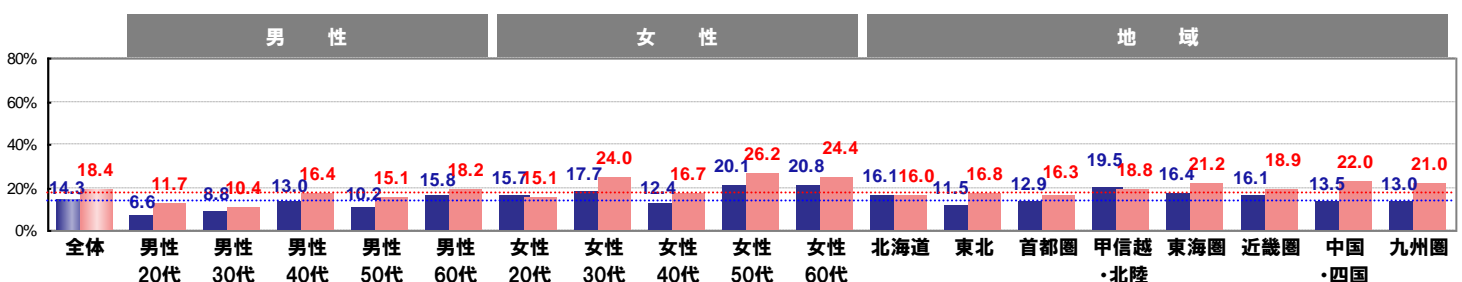
入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)



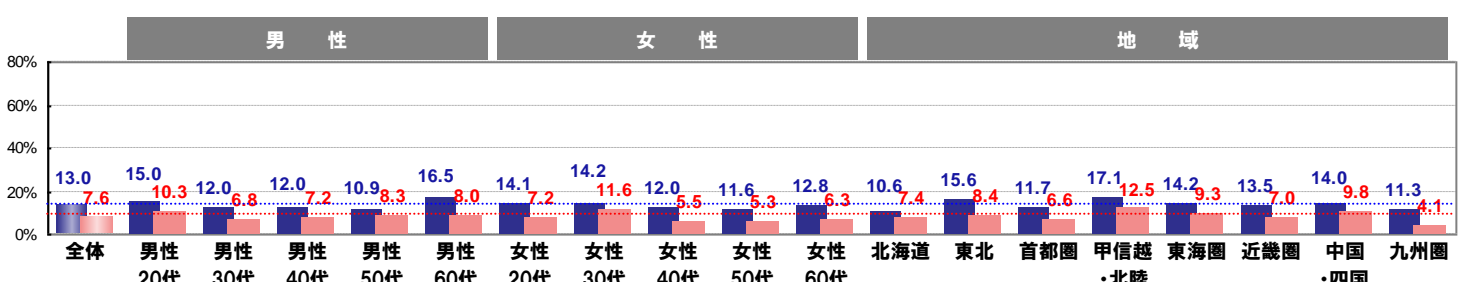
日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を支払口座として登録できる



自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから



ポイント交換商品が良いから



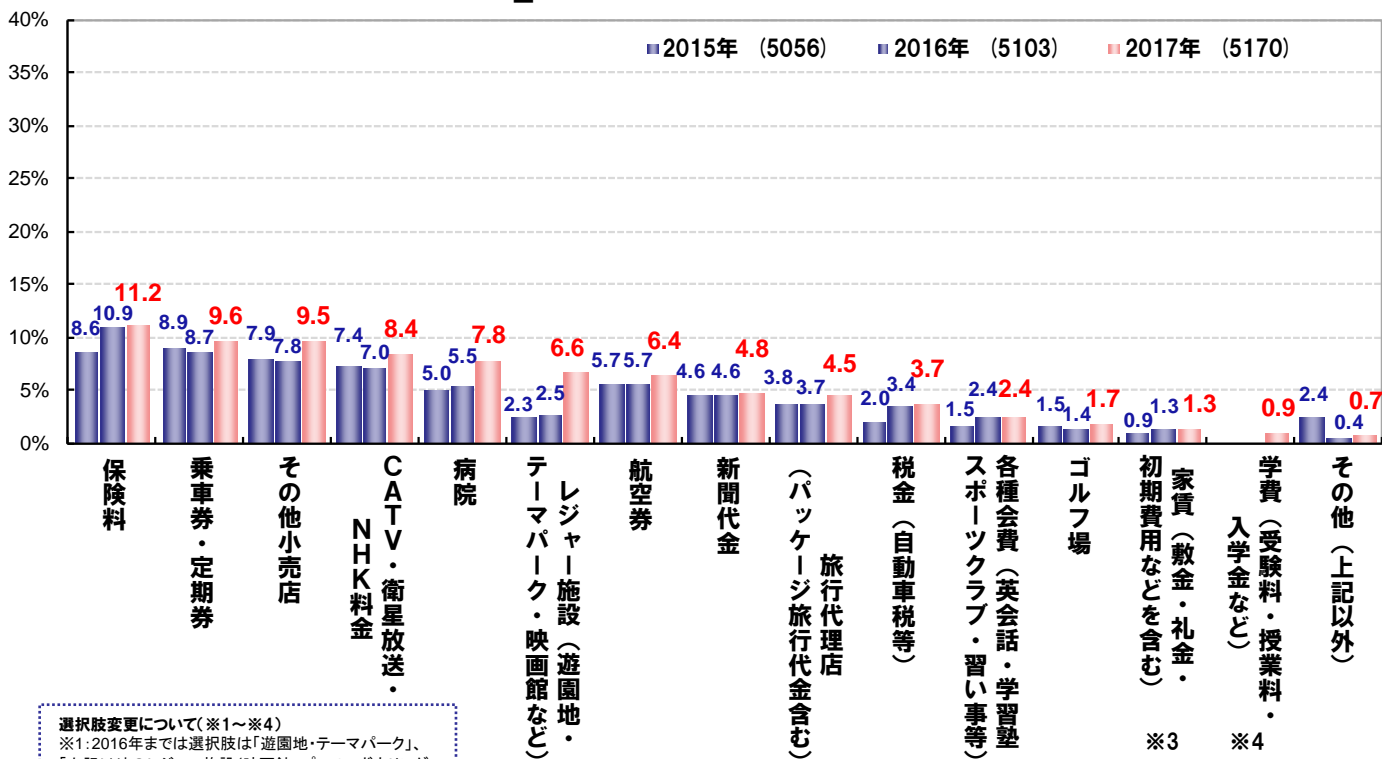
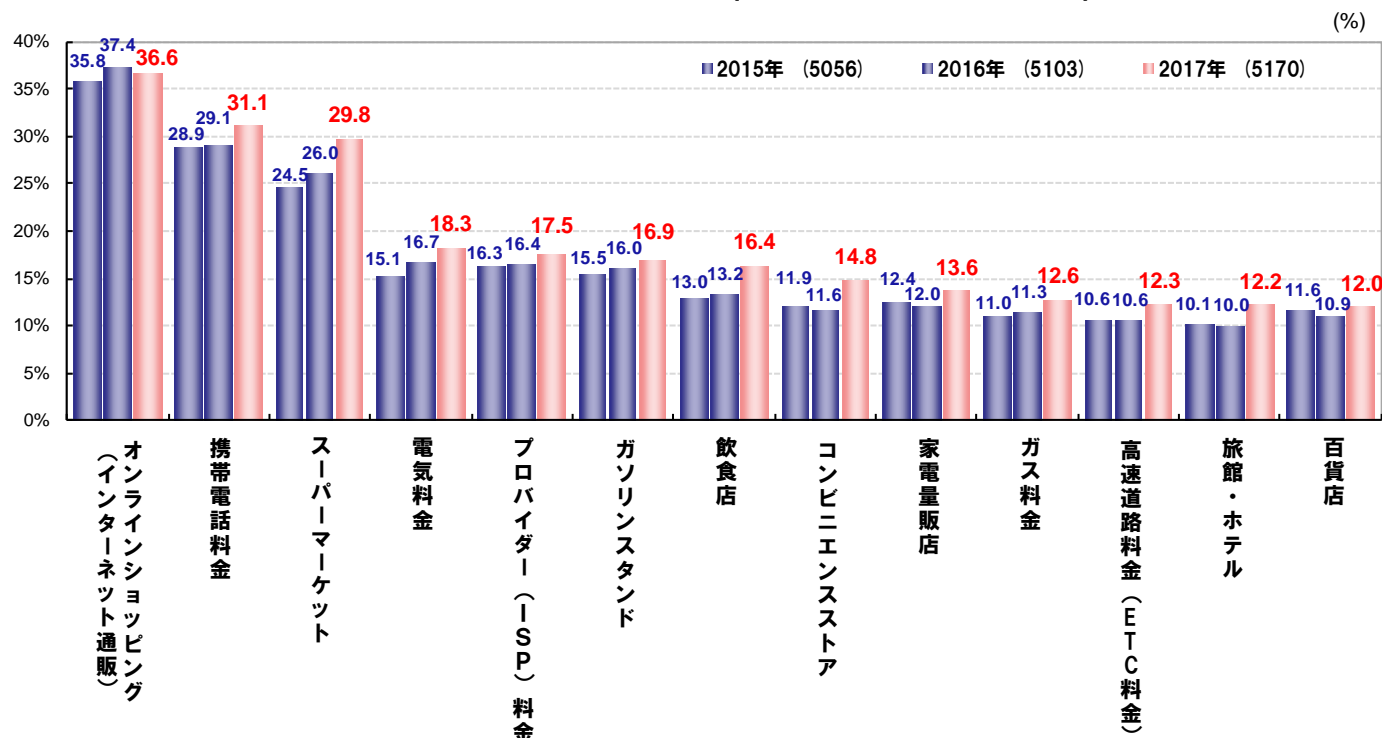
	全体	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	北海道	東北	首都圏	甲信越・北陸	東海圏	近畿圏	中国・四国	九州圏
1枚目	(2977)	(229)	(316)	(283)	(342)	(293)	(235)	(325)	(289)	(352)	(314)	(127)	(196)	(1067)	(180)	(364)	(475)	(255)	(313)
2枚目	(2310)	(141)	(225)	(223)	(304)	(253)	(145)	(245)	(223)	(285)	(266)	(93)	(153)	(831)	(140)	(295)	(378)	(195)	(224)

6. クレジットカード利用業種

カード利用が高い業種は「オンラインショッピング(インターネット通販)」、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」。
「スーパーマーケット」でのカード利用は、増加傾向がみられる。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「オンラインショッピング(インターネット通販)(36.6%)」が最も高い。次いで「携帯電話料金(31.1%)」、「スーパーマーケット(29.8%)」が3割前後で続く。
- ・「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」、「電気料金」など、全体的にカード利用が増加している。

■ 過去3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種【経年】(N=5170:クレジットカード枚数)



選択肢変更について(※1~※4)

※1:2016年までは選択肢は「遊園地・テーマパーク」、「上記以外のレジャー施設(映画館、プール、ボウリング場など)」に分けて聴取。※2:2015年まで選択肢は「英会話・スポーツクラブ等の会費」で聴取。2016年は「英会話・スポーツクラブ・習い事等」で聴取。※3:2016年まで選択肢は「家賃」で聴取。※4:2017年から選択肢を追加。

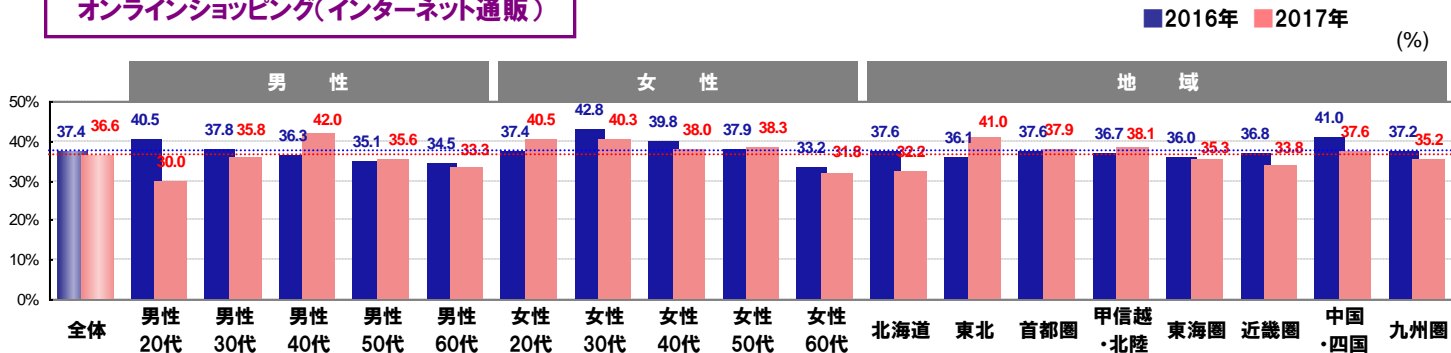
※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は、男性40代、女性20~30代が高い。
 「携帯電話料金」は、女性より男性が高く、男性30代が最も高い。
 「スーパーマーケット」では女性50代以上が高く、
 地域別では、東北、首都圏、東海圏で高く、また昨年と比較しても増加している。

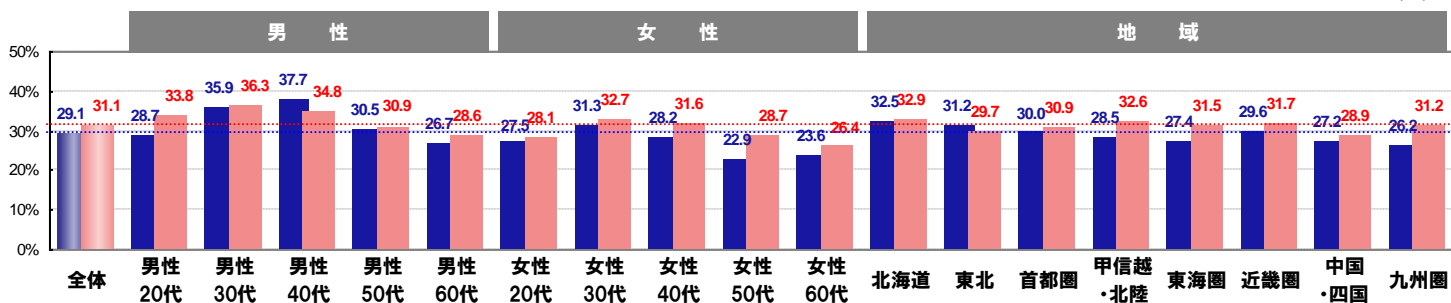
■ 過去3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種【属性別】

※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

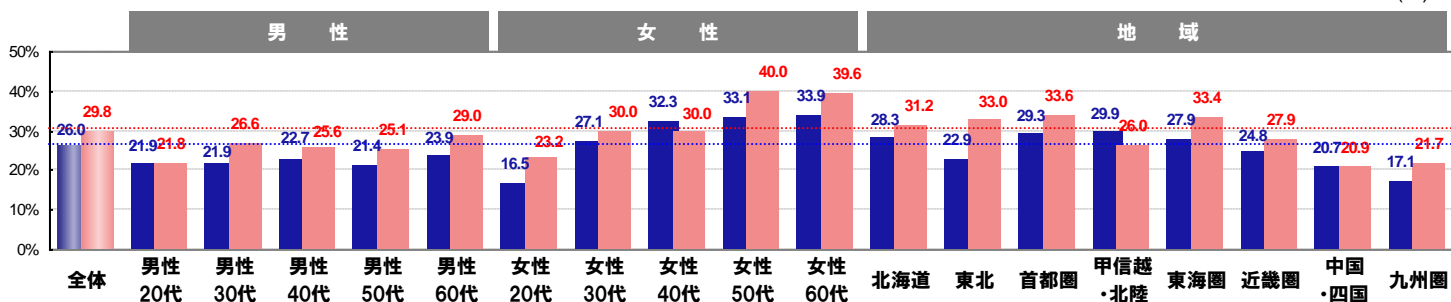
オンラインショッピング(インターネット通販)



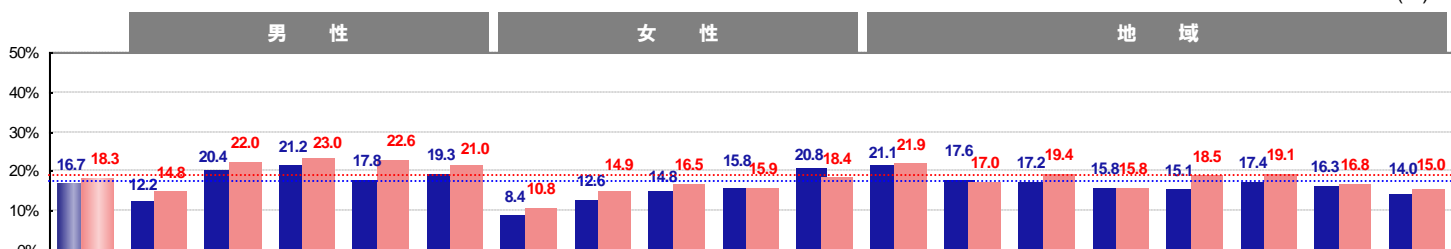
携帯電話料金



スーパーマーケット



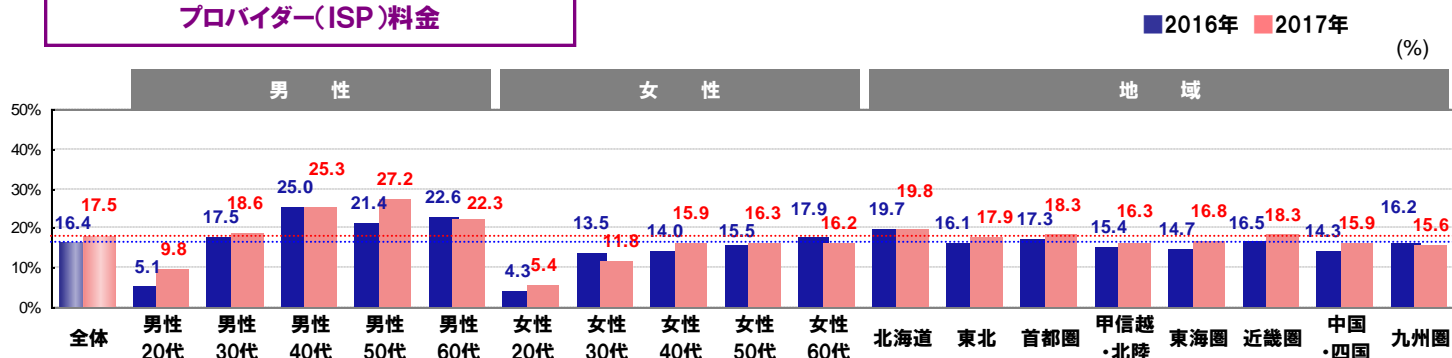
電気料金



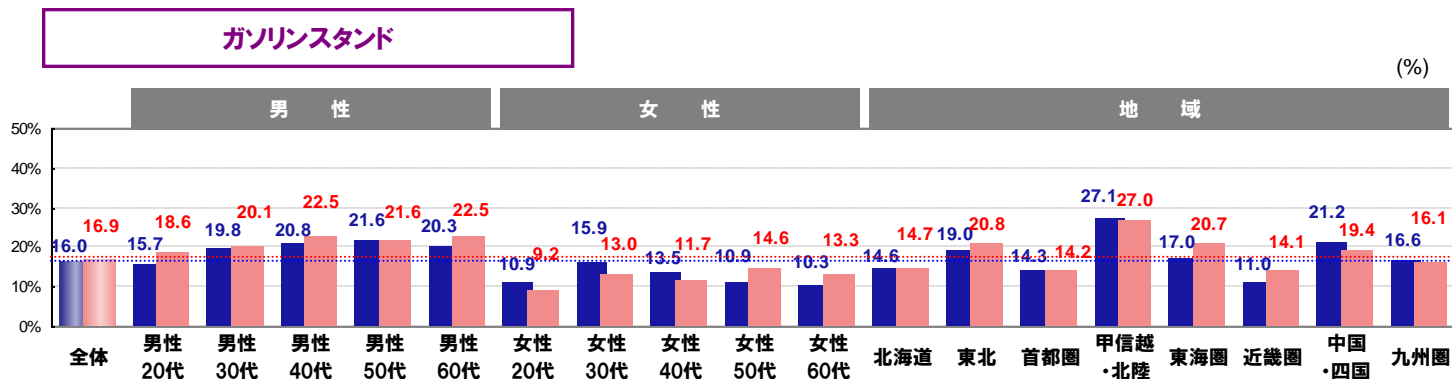
属性	2016年 (枚数)	2017年 (枚数)
全体	(5103)	(5170)
男性 20代	(347)	(363)
男性 30代	(510)	(528)
男性 40代	(462)	(484)
男性 50代	(619)	(620)
男性 60代	(539)	(537)
女性 20代	(369)	(372)
女性 30代	(553)	(559)
女性 40代	(508)	(506)
女性 50代	(631)	(627)
女性 60代	(565)	(574)
北海道	(217)	(213)
東北	(335)	(341)
首都圏	(1822)	(1845)
甲信越・北陸	(327)	(315)
東海圏	(605)	(648)
近畿圏	(860)	(838)
中国・四国	(427)	(440)
九州圏	(510)	(530)

「プロバイダー(ISP)料金」でのカード利用は、昨年と同様に、女性より男性のほうが高い。
 「ガソリンスタンド」でのカード利用は東北、甲信越・北陸、東海圏が高く、
 東海圏では昨年と比較しても増加している。

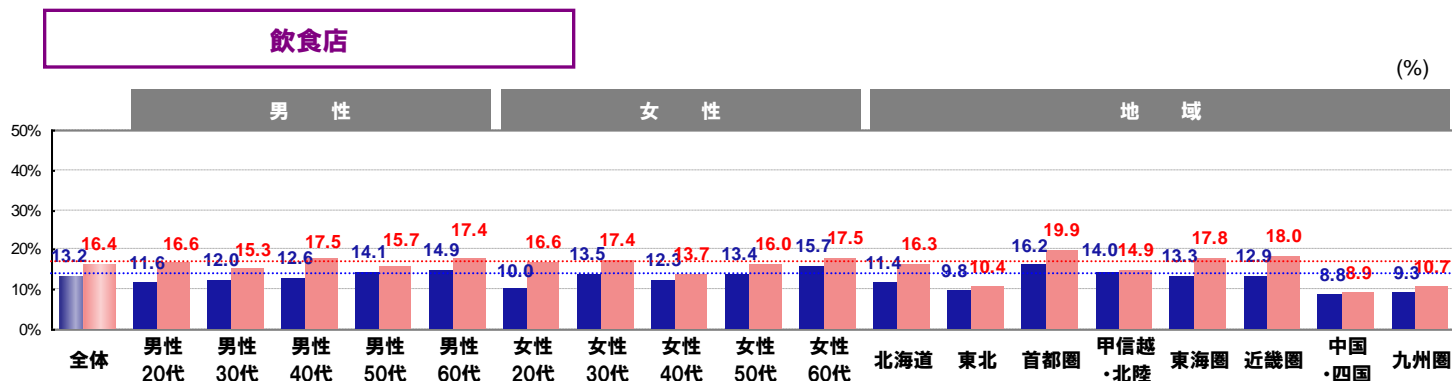
プロバイダー(ISP)料金



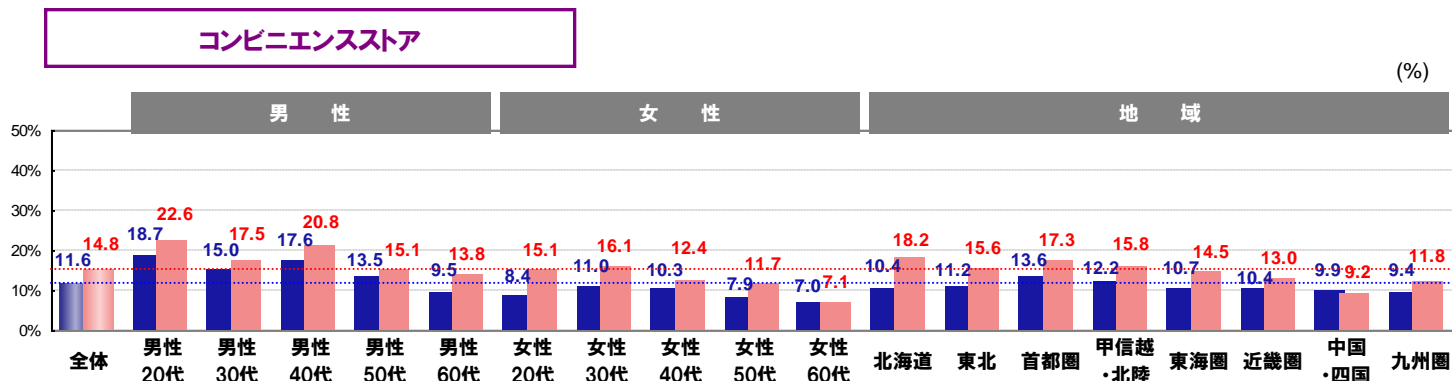
ガソリンスタンド



飲食店



コンビニエンスストア



2016年	(5103)	(347)	(510)	(462)	(619)	(539)	(369)	(553)	(508)	(631)	(565)	(217)	(335)	(1822)	(327)	(605)	(860)	(427)	(510)
2017年	(5170)	(363)	(528)	(484)	(620)	(537)	(372)	(559)	(506)	(627)	(574)	(213)	(341)	(1845)	(315)	(648)	(838)	(440)	(530)

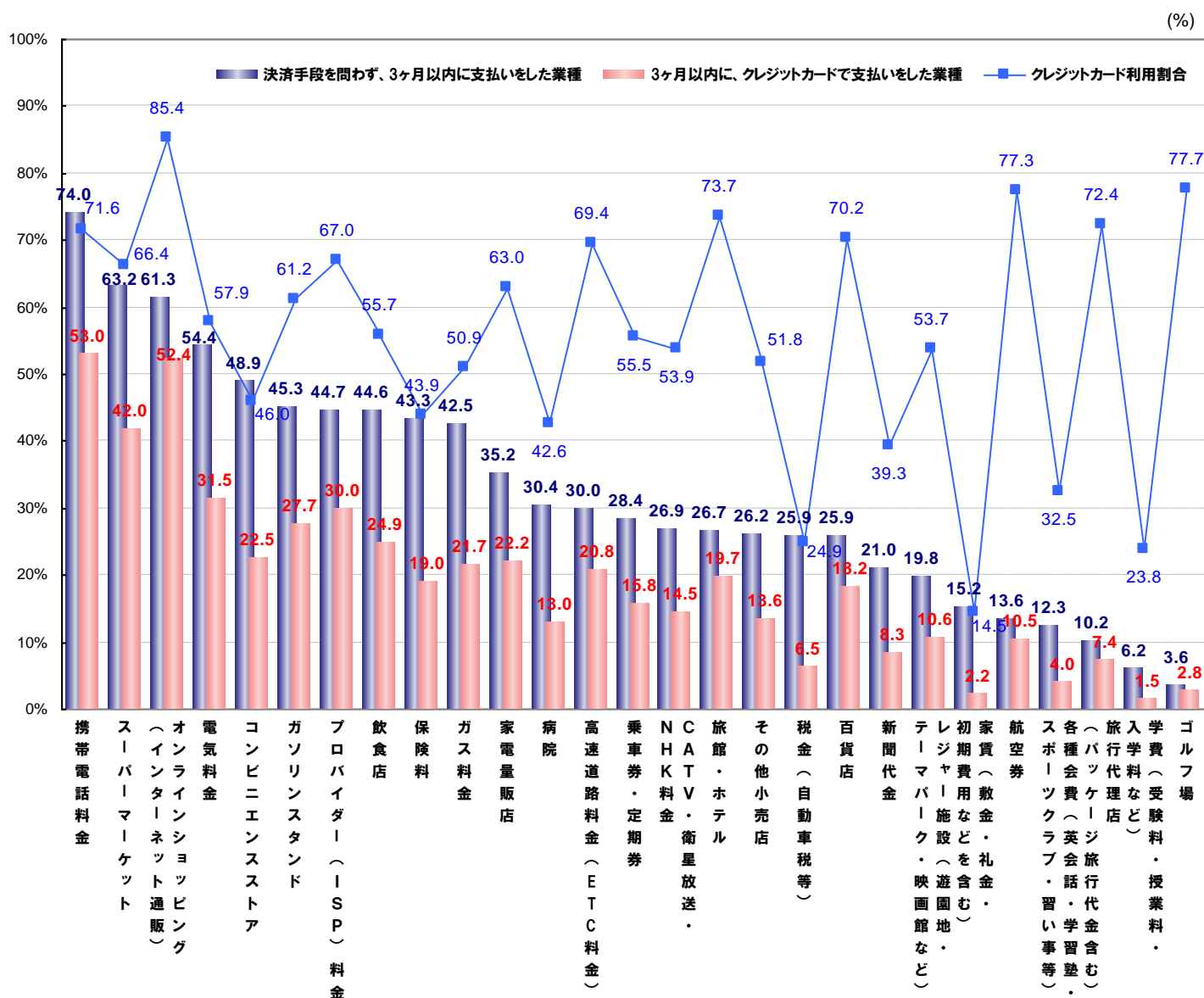
7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

クレジットカード保有者の5割以上が「携帯電話料金」、「オンラインショッピング(インターネット通販)」の支払いでカードを利用している。

「オンラインショッピング(インターネット通販)」では、支払いに占めるクレジットカード利用者の割合が8割を超えている。

■ 支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (N=2977:クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。



・決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種

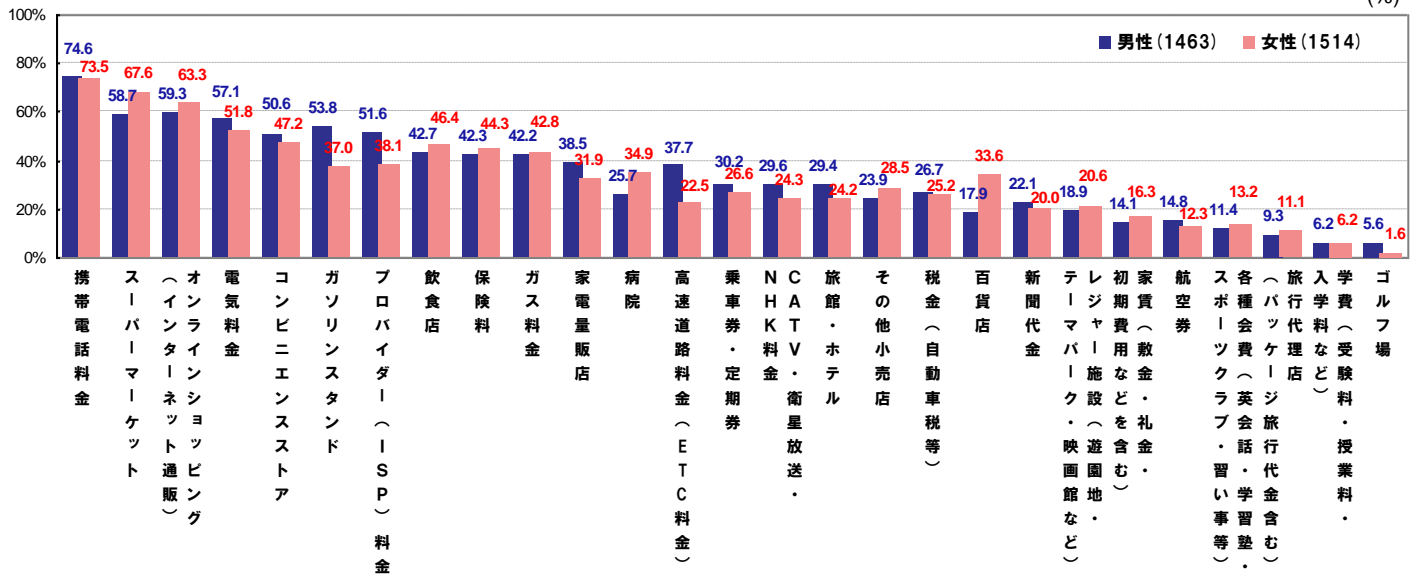
・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種・・・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種

・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したものの。

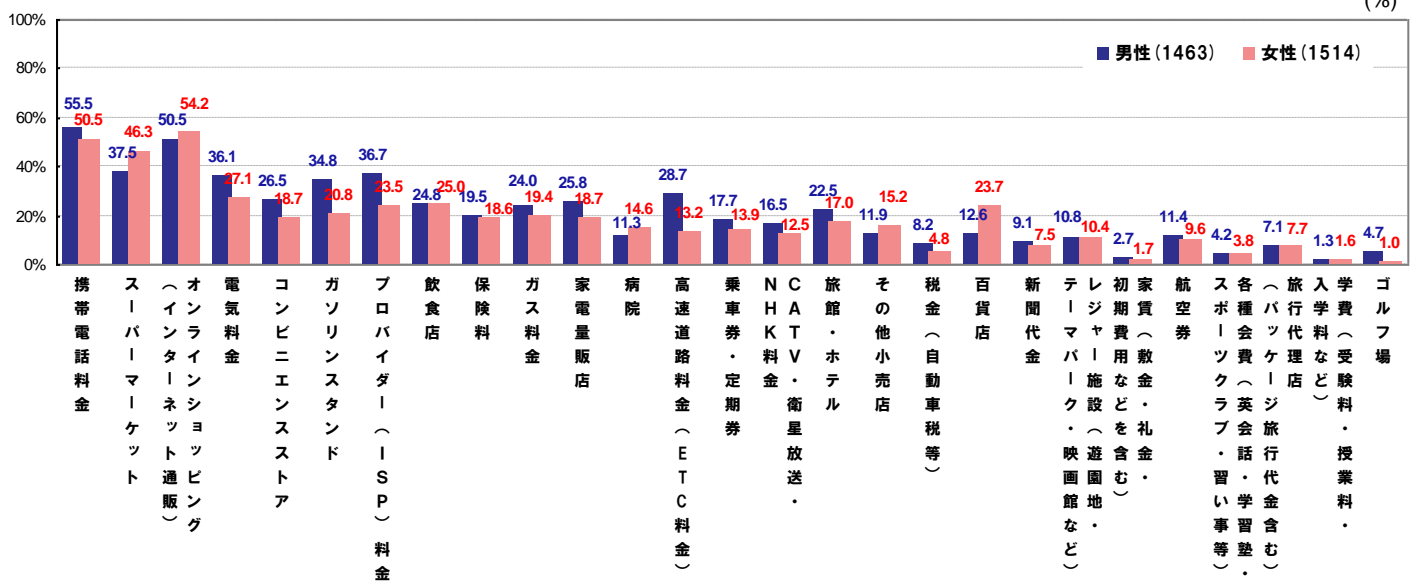
クレジットカード利用割合 = [3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種] ÷ [決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種]

一般的に、男性の方が支払時にカードを利用している。
ただし、「スーパーマーケット」や「百貨店」などでのカード利用は、女性が男性より高い。

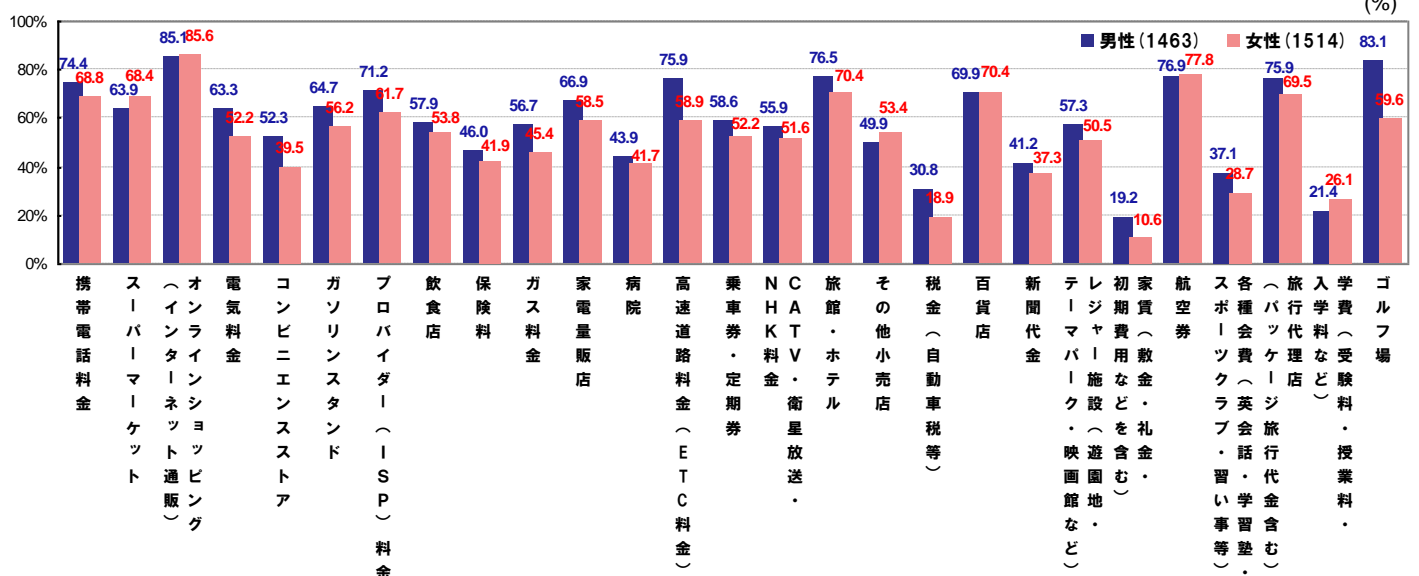
■ 決済手段を問わず、3ヶ月以内に支払いをした業種



■ 3ヶ月以内に、クレジットカードで支払いをした業種



■ 各業種のクレジットカード利用割合



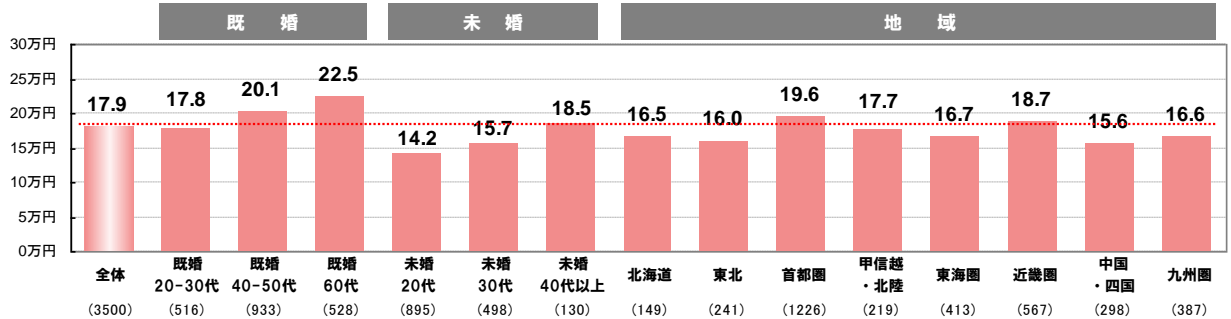
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額

クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.6万円。
そのうち平均6.5万円はクレジットカードで支払われている。

- クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は18.6万円。既婚世帯や、年齢が高い層ほど生活費は高く、地域別では首都圏が20.6万円です。
- クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は6.5万円。未婚20代は5万円以下と低い。首都圏はカード利用額が7.3万円です。

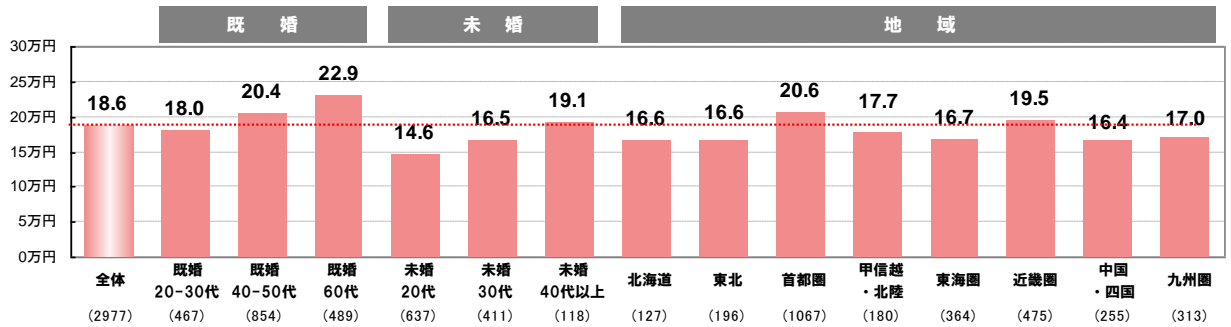
■ 世帯あたり月平均生活費【属性別】(N=3500)

2017年 (万円)



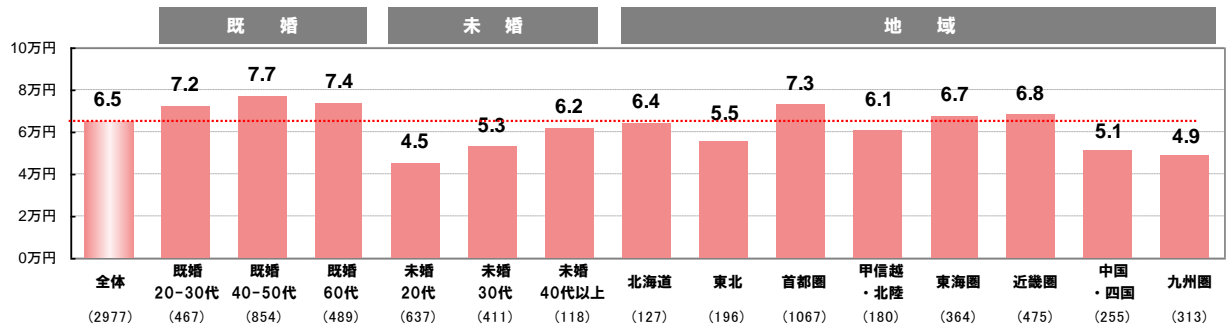
■ クレジットカード保有者の世帯あたり月平均生活費【属性別】(N=2977)

2017年 (万円)



■ クレジットカード保有者の世帯あたり月平均クレジットカード利用額 (N=2977)

2017年 (万円)

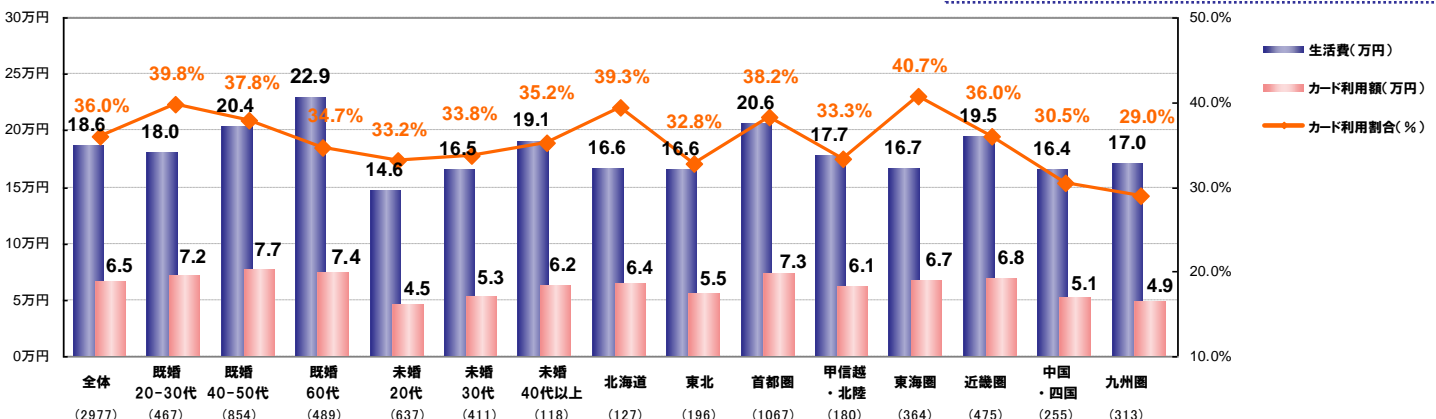


クレジットカード保有者のクレジットカード利用割合は36%。

- クレジットカード保有者の世帯あたり生活費に占めるクレジットカードの利用割合は36.0%。既婚20-30代や、地域別では北海道、首都圏、東海圏のカード利用割合が高い。

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した

■ クレジットカード保有者の世帯あたり生活費/カード利用額【属性別】(N=2977)

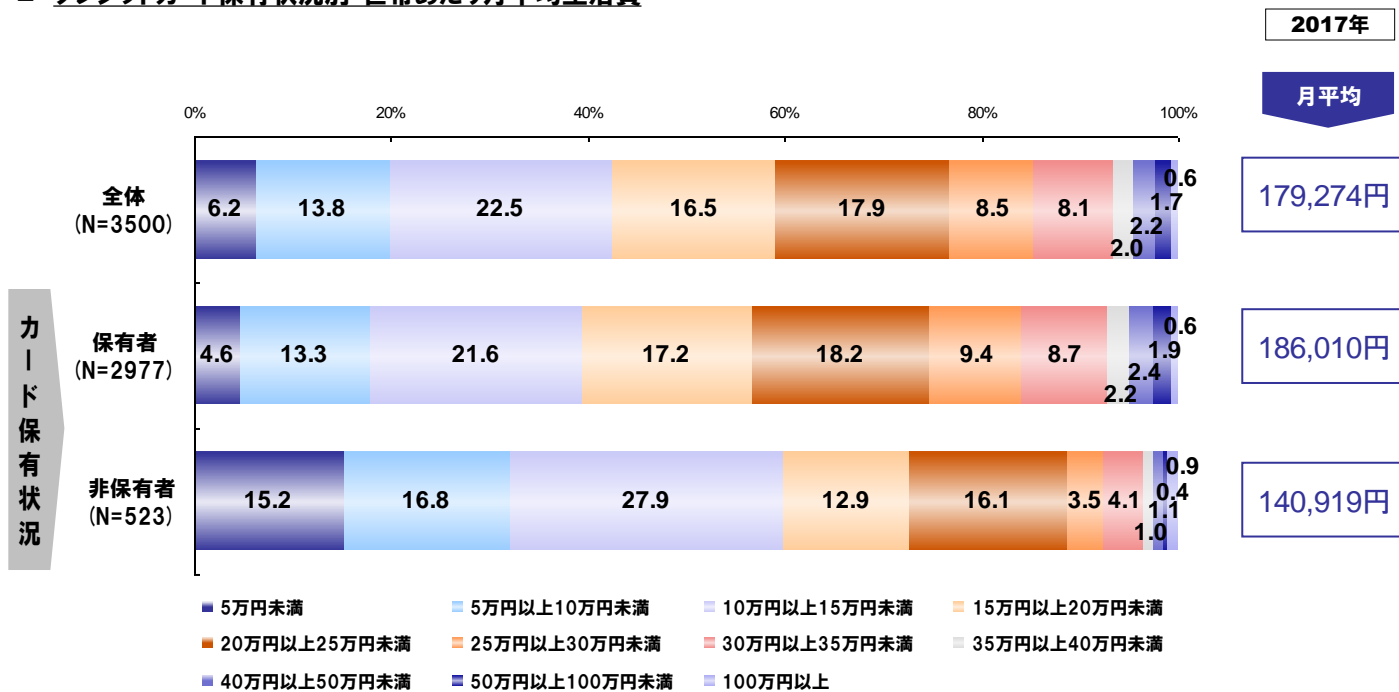


9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況

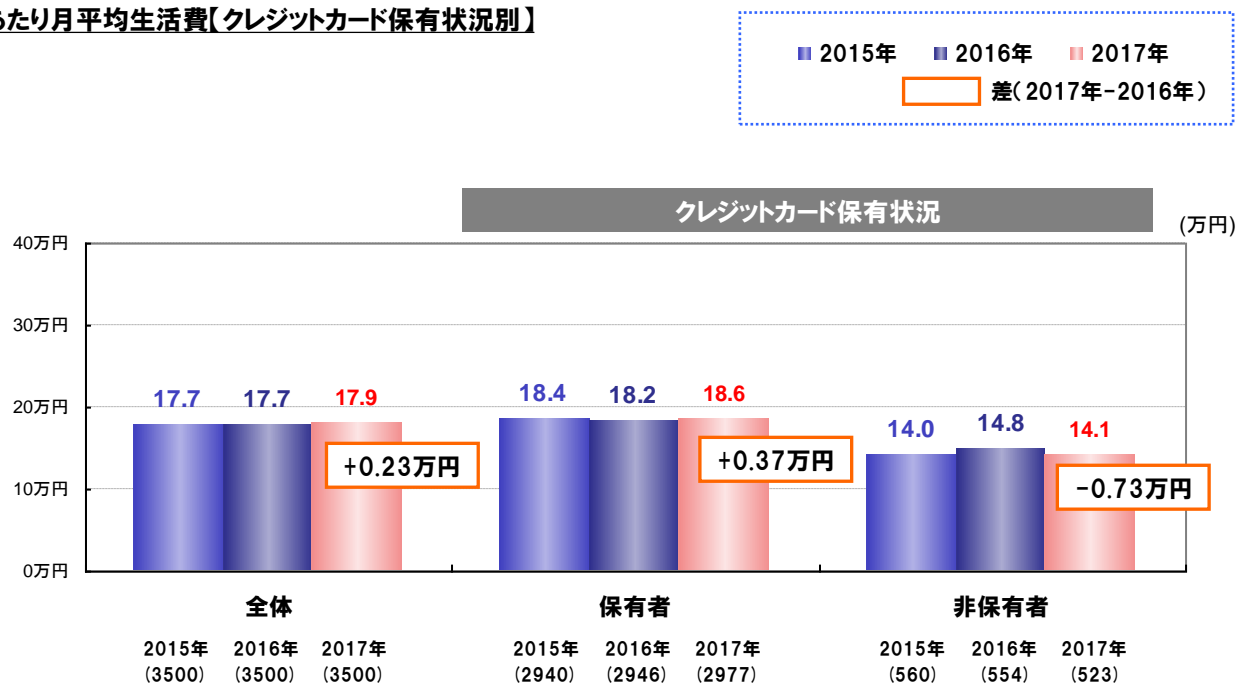
クレジットカード保有者の月平均生活費は18.6万円、非保有者の月平均生活費は14.1万円。

- クレジットカードの保有・非保有別に見た月平均生活費では、保有者が月平均18.6万円で非保有者(14.1万円)を月4.5万円上回る。クレジットカードの保有状況と、世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- 世帯あたり月平均生活費は、昨年から2,300円増加。クレジットカード保有者では3,700円増加。非保有者は7,300円と大きい減少がみられた。

■ クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■ 世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】

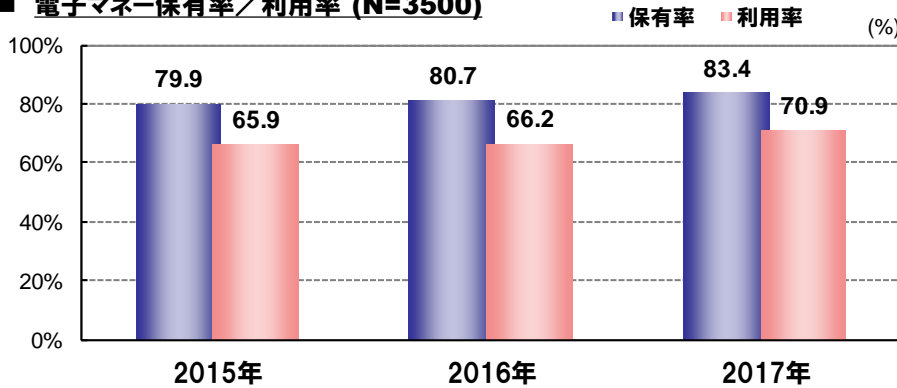


10. 電子マネーの利用状況

電子マネーは保有率、利用率ともに年々増加している。
電子マネーは、「コンビニエンスストア」、「鉄道・地下鉄・バス」での利用が多い。

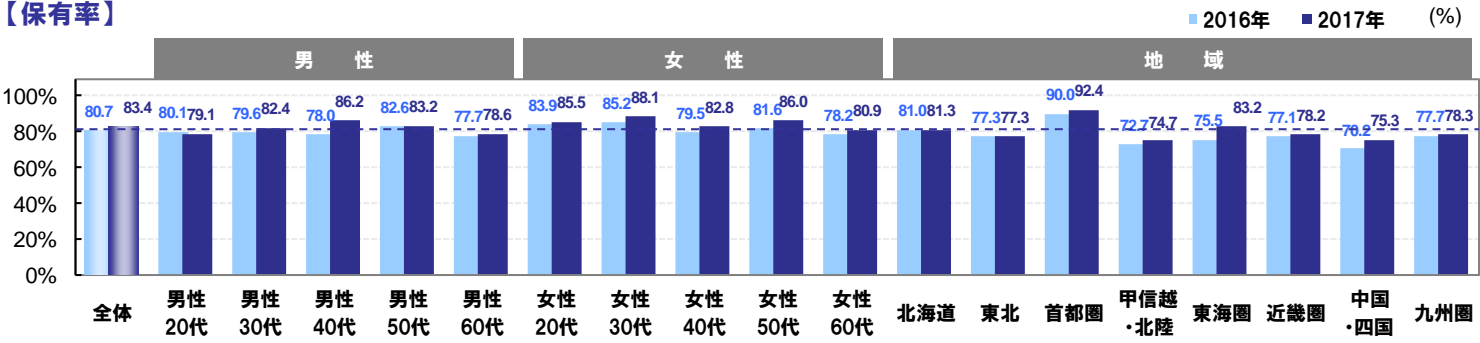
- 電子マネーの保有率(83.4%)、利用率(70.9%)ともに、昨年から増加。女性の保有率は8割を超え、全ての年代で利用率は昨年より同程度以上。地域別では首都圏の保有・利用が高い。一方で、東北、甲信越・北陸、近畿圏、中国・四国、九州圏の保有・利用が低い。
- 電子マネーで支払いをしている業種は、「コンビニエンスストア(48.2%)」が最も高い。次いで「鉄道・地下鉄・バス(46.8%)」が4割を超えて続く。

■ 電子マネー保有率/利用率 (N=3500)

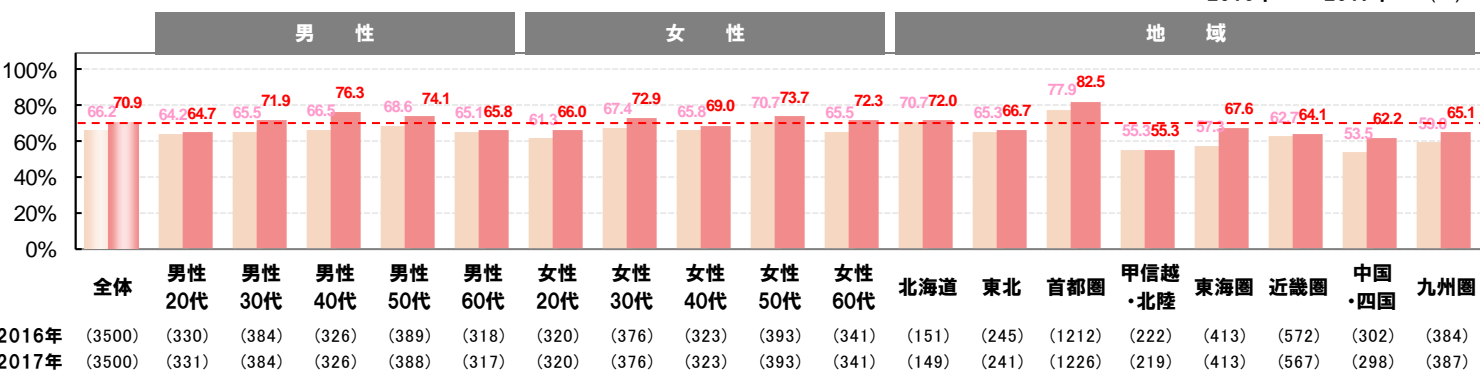


※本調査で電子マネーは「楽天Edy(エディ)」、「Suica・ICOCA・Kitaca・TOICA・SUGOCA・PASMO・manaca・nimoca・はやかけん」などの交通系電子マネー、「nanaco(ナナコ)」、「WAON(ワオン)」、「iD(アイディー)」※DCMXmini含む、「QUICPay(クイックペイ)」、「その他電子マネー」の保有・利用状況から電子マネー全体の保有・利用率を算出した

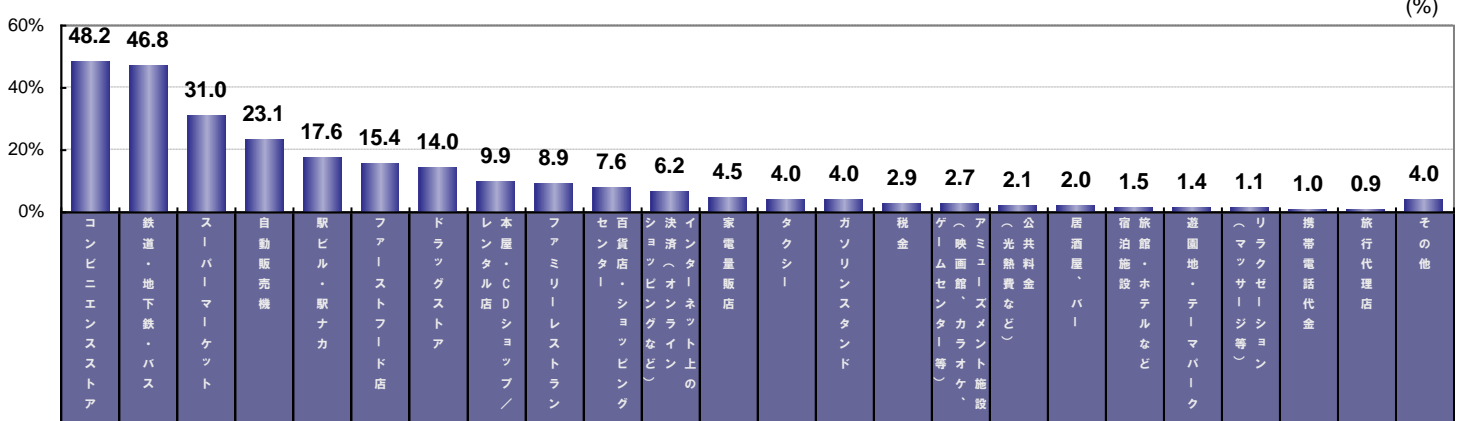
【保有率】



【利用率】



■ 電子マネー利用業種 (N=2919:電子マネー保有者) 【2017年】

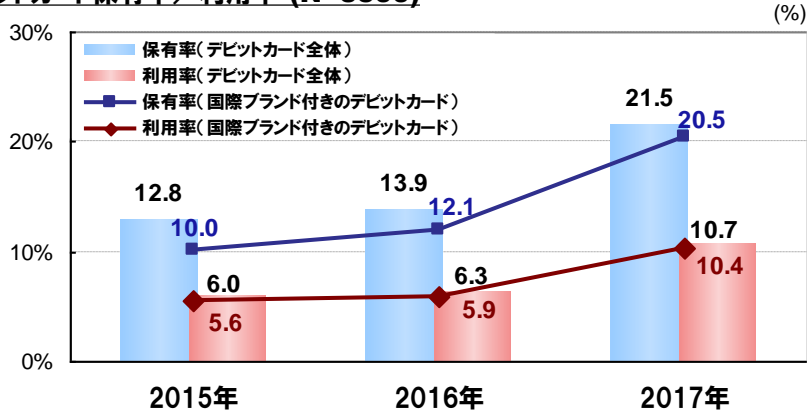


11. デビットカードの利用状況

デビットカードの保有率は21.5%、利用率が10.7%で昨年から増加している。
 主な利用理由は「残高の範囲内で利用でき、使いすぎないから」。最も利用しているのは男性30代。

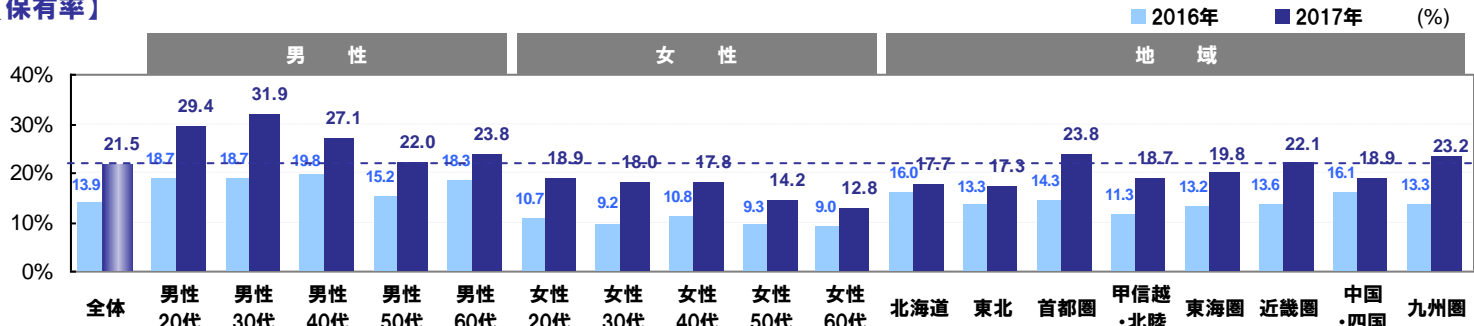
- デビットカードの保有率は21.5%で昨年から増加している。属性別でも全体的に保有率が増加している。国際ブランド付きのデビットカードの保有率は20.5%で昨年から8.4ポイント増加している。
- 利用率は10.7%であった。保有率と同様に、属性別でも全体的に増加している。
- デビットカードを利用する理由は、「残高の範囲内で利用でき、使いすぎないから(42.4%)」が最も高い。

■ デビットカード保有率/利用率 (N=3500)

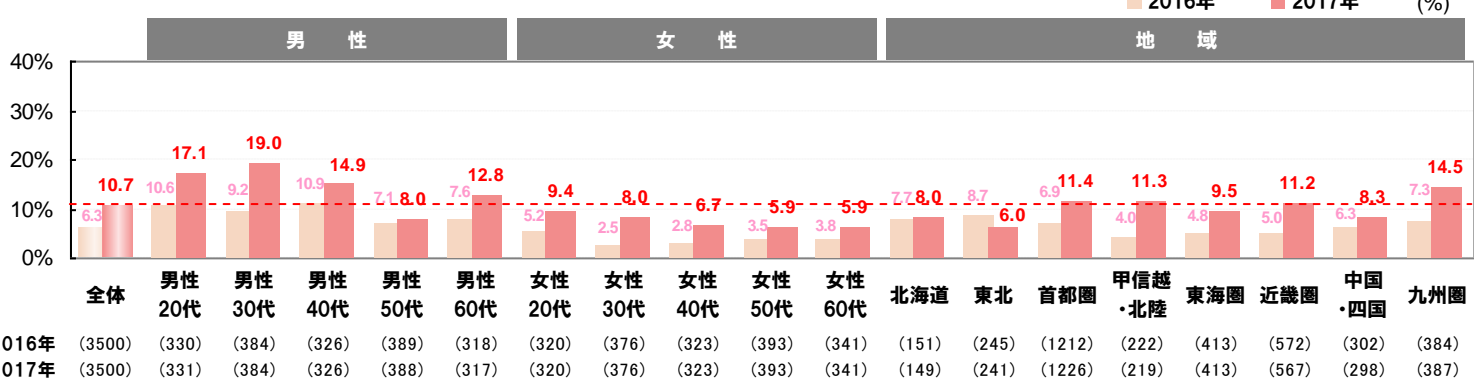


※デビットカードは本調査中で以下のように説明している。「金融機関の口座から即時引き落としで現金不要、口座残高の範囲内でのご利用となるため使い過ぎることがない。金融機関で発行されたキャッシュカードなどにデビットカード機能が付帯しているものもあります。」
 ※本調査では、2017年9月までに発行されたデビットカードを対象としている

【保有率】



【利用率】



■ デビットカード利用理由 (N=375:デビットカード利用者) 【2017年】

